



港区立港南中学校  
第1学年 学年通信 No.20  
平成30年 9月13日(木)

## 2学期が始まりました

2学期が始まり、早くも1週間がたちました。生活リズムも徐々に戻ってきているのではないのでしょうか。久しぶりに見た皆さんの顔を見て、もうすっかり中学生だな。少し大人っぽくなったな。と感じました。

今、各教科の先生や担任の先生たちは夏休みの課題をチェックしているところです。1つ1つの課題の取り組み方の様子から、どんな夏を過ごしたのかを想像することができます。提出物は多くの人たちが自力で期限までに出すことができました。夏の課題はしっかりと提出できたでしょうか？

小学校に比べれば、中学校の夏の課題の数は「多い」と感じた人はいたかもしれませんが、「計画的に」実施していけば、十分にできる分量だったと思います。「計画的に」物事に取り組むことこそ、中学生に求められていることなのです。1つ1つの課題はその先につながっていくものです。何のための課題なのかをよく理解して、物事に取り組む姿勢を身に付けていれば、この先もいろいろな分野で力を伸ばしていける人になっていけるでしょう。その判明、残念ながら9月になっても提出課題を出すことができなかつたり、放課後も課題をやらなければならない人の姿もみられます。

気になるのは、課題に取り組むのを「嫌だな」と思うとそのまま逃げてしまう傾向です。自分にとって「辛いこと」「嫌なこと」であっても「やらなければならないこと」や「やれば自分が伸びること」からは簡単に逃げてほしくありません。きちんと課題に向かい合った上で、もし、それが「どうしてもできないもの」であれば、中学生の間は、先生や周りの人にサポートしてもらいましょう。「できない」ということをしっかりと見つめることはとても大切なことです。勉強が苦手な人でも、夏の学習教室を利用して、うまく課題をクリアしていた人もいました。とても大切なことだと思います。

夏の課題の取組を通して、「どうすれば自分が課題と向き合っていけるか」ということを中学校生活でしっかり身に付けていきましょう。「辛い」「大変」なものこそ、達成した時、乗り越えた時に自分の力にも、自信にもなっていくのです。先生たちも、君たちが自分の手で道を切り開いていけるように、学年全体で応援していきます。学校は自分の夢をかなえるためのプロセスを学ぶ場と言えます。だから、自分が苦労している時こそが、成長のきっかけだと思うことです。課題に向かい合っている君たちに対して、保護者や先生たちは一緒に見守りながら、自分の力で課題を乗り越えてくれることを願っていきたくと思います。

君たちはまだ中学生ですから、応援してくれている大人たちが、すぐ近くに寄り添っていることも忘れずにいてください。

## 救急救命講習を行いました

10日(月)1校時~4校時に消防署の方に来た頂き、救命講習を行いました。救急救命の必要性・重要性はもちろん、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使用方法を実践しながら学んでいきました。最初はぎこちない手つきでしたが、徐々に手順を覚え、協力しながら実践することができましたね。



## 弁論の様子

夏休みの宿題であった弁論を各クラスごとで発表しています。一つの題目にあわせ、1人1人よく考えて自分なりの意見をまとめることができています。全員の発表を聞き、学芸発表会で代表として発表する人が決定します。これから発表の人はしっかり準備しましょう。



## 21日(金)は生徒会役員選挙です

中学校生活にも慣れ、これからの学校づくりに欠かせない生徒会が新しく発足されます。新しい生徒会には1年生からも3名入ることになります。立候補者たちはこれからの学校をよりよくするため、考え、悩み、立候補を決めてくれました。学年の仲間を応援しましょう。

### 来週の予定

9月17日(月)	敬老の日
18日(火)	生徒会朝礼
19日(水)	道徳地区公開講座
20日(木)	
21日(金)	生徒会役員選挙